

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-146585(P2006-146585A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-336222(P2004-336222)

【国際特許分類】

**G 0 6 F 12/00 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/06 (2006.01)**

**G 0 6 F 3/08 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 4 2 L

G 0 6 F 12/00 5 0 1 A

G 0 6 F 3/06 3 0 1 Z

G 0 6 F 3/08 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月5日(2007.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ファイルを記憶するデータ領域と前記ファイルの管理情報を記憶する管理領域とを構成するファイルシステムに従い、不揮発性の記憶手段へのアクセスを制御する制御手段と、前記記憶手段の前記データ領域を消去するが前記管理情報を消去しない第1のフォーマットと、前記記憶手段の前記管理情報を消去しその後前記データ領域を消去する第2のフォーマットと、のいずれかを実行するフォーマット手段と、備え、

前記制御手段は、前記第1のフォーマットを実行している期間においてはフォーマットの中止指示を不可にし、前記第2のフォーマットを実行している期間のうち前記データ領域を消去する期間においてはフォーマットの実行の中止指示を許容して前記第2のフォーマットの実行を中止するよう制御することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

前記制御手段は、前記第2のフォーマットを実行している期間のうち前記データ領域を消去する期間において、フォーマットの中止の許容を表示手段により利用者に通知し、利用者の操作により前記中止指示を入力できるように制御することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記フォーマット手段は、前記第2のフォーマットにおける前記データ領域の消去を、前記ファイルシステムに従うブロック単位で実行し、前記制御手段は、前記ブロック単位での消去の期間において、前記中止指示を許容することを特徴とする請求項1または2に記載の電子機器。

【請求項4】

前記フォーマット手段は、前記ブロック単位でのフォーマットの進行状況を表示手段により利用者に通知することを特徴とする請求項3に記載の電子機器。

【請求項5】

前記記憶手段は、インタフェースを介して接続される外部記憶媒体であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記電子機器はデジタルカメラであり、前記第 2 のフォーマットを中止した後、シャッターの操作をとともなう撮像処理に移行できることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 7】

ファイルを記憶するデータ領域と前記ファイルの管理情報を記憶する管理領域とを構成するファイルシステムに従い、不揮発性の記憶手段へのアクセスを制御する電子機器の制御方法であって、

前記記憶手段の前記データ領域を消去するが前記管理情報を消去しない第 1 のフォーマットと、前記記憶手段の前記管理情報を消去しその後前記データ領域を消去する第 2 のフォーマットと、のいずれかを実行するフォーマット工程と、

前記第 1 のフォーマットを実行している期間においてはフォーマットの中止指示を不可にし、前記第 2 のフォーマットを実行している期間のうち前記データ領域を消去する期間においてはフォーマットの実行の中止指示を許容して前記第 2 のフォーマットの実行を中止するよう制御する制御工程と、を備えることを特徴とする電子機器の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この課題を解決するため、例えば本発明の電子機器は以下の構成を備える。すなわち、ファイルを記憶するデータ領域と前記ファイルの管理情報を記憶する管理領域とを構成するファイルシステムに従い、不揮発性の記憶手段へのアクセスを制御する制御手段と、

前記記憶手段の前記データ領域を消去するが前記管理情報を消去しない第 1 のフォーマットと、前記記憶手段の前記管理情報を消去しその後前記データ領域を消去する第 2 のフォーマットと、のいずれかを実行するフォーマット手段と、備え、

前記制御手段は、前記第 1 のフォーマットを実行している期間においてはフォーマットの中止指示を不可にし、前記第 2 のフォーマットを実行している期間のうち前記データ領域を消去する期間においてはフォーマットの実行の中止指示を許容して前記第 2 のフォーマットの実行を中止するよう制御することを特徴とする。